

令和2年度

事業報告書

社会福祉法人川越市社会福祉協議会

令和2年度事業報告書目次

1	地域福祉への関心を高めよう・・・・・・・・・・・・・・・・	1
	(1) 福祉に関する情報の提供	
	(2) 福祉の心の育成	
2	地域での活動の担い手になろう・・・・・・・・・・・・・・・・	4
	(1) 地域福祉の担い手の育成	
	(2) 安心してボランティアができる環境づくり	
3	さまざまな人と交流し、みんなで支え合う地域にしよう・・・・・・・・	12
	(1) 地域コミュニティの活性化	
	(2) 支え合い・助け合い活動を充実させ、もしものときに助け合える関係の構築	
4	地域でのネットワークをつくろう・・・・・・・・・・・・・・・・	22
	(1) 各種関係団体の連携促進	
	(2) 分野を超えた協力体制の整備	
5	だれもがいきいきと安心して暮らし続けられる地域にしよう・・・・・・・・	24
	(1) だれもがいきいきと暮らせる地域の創設	
	(2) だれもが安心して暮らし続けられる地域の創設	
	(3) 安心できる生活を支える仕組みの整備	
6	地域福祉を推進するための社協基盤の強化・・・・・・・・・・・・・・・・	42
	(1) 人事・労務体制の整備	
	(2) 法人運営及び組織管理体制の確立	
	(3) 財政基盤の強化と事業推進体制の整備	
7	その他・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	50
	(1) 実施事業	
	(2) その他の事業	
	(3) 福祉団体事務局	
	(4) 令和元年10月台風19号被害に対する支援	

【表記説明】

- (1) 「コ縮小」・・・新型コロナウイルスの影響で縮小した事業
- (2) 「コ中止」・・・新型コロナウイルスの影響で中止した事業

令和2年度事業報告書

1 地域福祉への関心を高めよう

～地域福祉を身近なものとするために

福祉教育の充実やイベント等の事業を通じて福祉への意識啓発や情報提供を展開し、地域福祉の推進に努めます。

(1) 福祉に関する情報の提供(総務課、地域福祉課、生活支援課、総合福祉センター)

① 川越市地域福祉活動計画の周知

ア 社会福祉協議会ホームページ

社会福祉協議会のホームページに計画を掲載し周知を図った。

イ 地区社協への周知

地域計画策定に向けて、現行計画の説明等を行った。

② ホームページを使った福祉情報周知の充実

ア 社会福祉協議会ホームページ

福祉情報の提供や活動の報告を職員が随時更新可能にする機能を新設するために、ホームページの見直しを実施した。各課の職員で、ホームページのお知らせ機能を活用して、周知すべき情報について発信を行った。

イ 総合福祉センターホームページ

内容を随時更新し、総合福祉センターの事業に関する情報を発信した。 アクセス数：28,755件

③ 分野ごとに当事者へ福祉情報を発信

ア 地区社協だよりの発行支援

地区社協だよりの発行のため、情報等を提供し、発行支援活動を行った。

イ 各ビューローの情報紙発行

ビューロー名	号数	発行部数
ボランティア室	263号	1,050部
ビューロー西	121号～122号	各750部
ビューロー南	99号～100号	各700部
ビューロー保健センター	70号～71号	各315部

※ コロナ禍において、各ビューロー共に登録ボランティアに情報紙を送付した。(縮小発行)

ウ パンフレット等の配布

ボランティア活動希望者に対し、ボランティア情報紙、パンフレット等により情報提供を行った。

④ 社協だよりの発行

ア 社協だより 計 6 回 総部数 983,262 部

号数	発行日	号数	発行日
227 号	6 月 1 日	230 号	12 月 1 日
228 号	8 月 1 日	231 号	2 月 1 日
229 号	10 月 1 日	232 号	4 月 1 日

イ 声の社協だより

ボランティアグループ「オアシス音訳サークル」の協力により、毎号デージー図書CDを作成し利用者に配布した。新型コロナウイルス感染症の影響で、緊急事態宣言が発出された際は、音訳の中止があり、職員で対応した。

⑤ マスメディア・SNSを活用した福祉情報の発信

福祉関係施設等のイベント情報発信の協力

地域やボランティアの活動、イベント、動画の作成や助成金などの周知のため、社協だより、ホームページ、Facebook、twitter等のSNSに記事を掲載し、またチラシ等を配布することで周知を図った。

⑥ その他の情報発信

ア ファミリー・サポート・センター

啓発用チラシ・リーフレットを各関係機関等に配布した。

- ・関係団体、機関等への周知（学童保育室、家庭保育室、保育園、幼稚園へリーフレット配布） 182 か所
- ・会報誌の発行 1 回（7 月）

イ 川越市総合福祉センターオアシスだよりの発行

総合福祉センターだよりを毎月発行し、公民館、文化会館、障害者施設等へ配布し、情報の発信に努めた。

- ・発行：第 301 号から第 312 号まで、毎月 500 部配布

ウ ユーチューブ（YouTube）の配信

緊急事態宣言により外出の自粛が要請され、自宅にこもりがちとなった、高齢者や児童を対象に動画配信を行った。

- ・関節らくらく体操 10 本

- ・（認知予防）脳トレ、リアクションクイズ 4本
- ・オアシス パネルシアター 7本

エ 西後楽会館だよりの発行

西後楽会館だよりを発行し、利用者に対し情報提供に努めた。

- ・発行：年2回、各80部配布

(2) 福祉の心の育成 （総務課、地域福祉課、生活支援課）

① 地区における交流会・講演会・各種講座の実施

ア 世代間交流事業等地域活動への支援 《P16-㊦参照》

地区社会福祉協議会で行う世代間交流事業へ支援を行った。また、社協だよりに事業の紹介を行った。

イ 福祉協力員等事業等の実施 《P8-㊦-ア参照》

地区社会福祉協議会で行う福祉協力員等事業に対して、内容の検討、講師の調整、職員による講義等地域住民のニーズに即した支援を行った。

ウ 地域活動参加・啓発の協力

㊦ 地区社会福祉協議会及び地区民生委員児童委員協議会の事業に対し参加、協力等を行った。（22地区社協・地区民児協）

㊧ 地区社協に対しては、開催する事業への参加、事業内容の検討及び研修等の支援、実施事業について社協だよりに掲載し、紹介するなどの協力をした。

㊨ 地区民児協に対しては、定例会への参加、研修等の支援、民生委員活動についての啓発に協力した。

② 子どもたちに向けた福祉教育充実への取組み

ア ボランティア体験学習「ワークキャンプ」の実施（コ中止）

ボランティア活動の実践やグループ討議を通じて、体験的に福祉を学び、地域への福祉活動や災害支援に関心を持ち、人への思いやり、助け合いの心を育むためワークキャンプを行う予定だったが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止とした。

- ・想定：平成23年3月11日に発生した東日本大震災で被災した福島県いわき市での被災地支援活動（農業支援）

イ ボランティア体験学習への協力

地域や小中学校におけるボランティア体験学習へ福祉機器の貸出し

を行った。

機器等名称	保有数	件数	機器等名称	保有数	件数
アイマスク	77	3	高齢者疑似体験 セット	15	5
白杖	28	8	福祉ビデオ	6	2
点字器	77	4	車椅子	18	14
				合 計	36

③ 高齢者や障害のある人と交流を深める事業の充実

(ふれあい福祉まつり、福祉の市など)

ア 第30回(令和2年度)ふれあい福祉まつりの開催 (コ中止)

令和2年5月に開催を検討していたが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止とした。

イ 福祉の市の開催 (コ中止)

令和2年11月に開催を検討していたが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止とした。

④ 川越市社会福祉大会の実施 (コ縮小)

社会福祉関係者等の長年にわたる活動に対して、表彰及び感謝の意を表すとともに地域福祉の強化や市民参加によるボランティア活動の推進を図った。今年度は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、運営委員会の決定で、式典を開催せず、受賞者に賞状及び記念品を郵送した。

- ・テーマ：「人と人とのつながりを深め だれもが自分らしく いきいきと暮らせるまち 川越」
- ・スローガン：「つながりを 地域に広げる 笑顔の輪」
：「声かける そこから始まる ボランティア」
- ・表彰：大会会長表彰 74人、6団体
：大会会長感謝 70人、6団体

2 地域での活動の担い手になろう

～地域における“助け合い”を広めるために

高齢化等により要支援者の増加がさらに見込まれる中、担い手不足や担い手の高齢化が課題とされているため、担い手の育成に努めます。

(1) 地域福祉の担い手の育成 【推進目標】 (地域福祉課、生活支援課)

① コミュニティソーシャルワーク実践者の養成

コミュニティソーシャルワーク実践者養成研修会の実施 (コ中止)

地域共生社会実現に向けた地域づくりを推進するための情報交換会等開催する予定だったが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止とした。

② 各種ボランティア養成講座の充実

ア 聴覚障害者支援ボランティア養成講座の開催

ボランティアグループ「川越市手輪の会」の協力により、聴覚障害者の体験談を聞くとともに、簡単な手話技術を修得し、今後の障害者支援の協力者の育成を図った。

- ・期間：令和2年9月5日～11月7日 計10回
- ・会場：川越市総合福祉センター、やまぶき会館
- ・参加者数：20人（延べ160人）

イ 傾聴ボランティア養成講座の開催

特定非営利活動法人埼玉カウンセリングセンターの協力により、傾聴ボランティアの育成を図った。

- ・期間：令和2年11月6日～12月1日 計5回
- ・会場：川越市総合福祉センター
- ・参加者数：14人（延べ68人）

ウ 朗読ボランティア入門講座の開催

視覚障害者や児童に、広報誌等での情報提供や本の読み聞かせ等をする担い手を育成した。

- ・期間：令和2年11月16日～12月21日 計4回
- ・会場：川越市総合福祉センター
- ・参加者数：15人（延べ59人）

エ 点字ボランティア養成講座の開催（コ中止）

ボランティアグループ「だるまの会」の協力により、講座を開催したが、新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響により3回開講後、中止とした。

- ・期間：令和2年12月8、15、22日 計3回
（計画：令和2年12月8日～令和3年2月16日 計10回）
- ・会場：川越市南公民館
- ・参加者数：13人（延べ37人）

オ ボランティア入門講座の開催（コ中止）

ボランティア活動について幅広く知り、ボランティア活動を始めるきっかけ作りと地域で活躍できるボランティアを発掘、育成することを目的として開催を予定していたが、新型コロナウイルス感染症拡大防止の

ため中止とした。

- ・開催予定日：令和3年3月4日
- ・会場：川越市総合福祉センター

③ ボランティアリーダーの養成

名 称	参加者
ボランティアコーディネーター現任研修	1
全国福祉教育推進員フォローアップセミナー（オンライン）	1
福祉教育推進のための意見交換会（オンライン）	1
共助SDGsフォーラム（オンライン）	1
災害時におけるマニュアル策定の手引きセミナー	1
令和2年度災害対応力強化研修（オンライン）	2
コロナ禍における災害ボランティアセンター運営研修会（オンライン）	3
埼玉県市町村連絡会 令和2年度研究集会（オンライン）	2

④ ボランティア体験プログラム等の実施

ア ボランティア体験プログラム

～ 自宅でできる！自宅周辺でできる！社会貢献活動 ～

学生の福祉への関心を高めることを目的に、自宅での制作活動や自宅周辺で清掃活動等の社会貢献活動を実施した。制作物は社協を通じて参加施設に届け、施設からの活動者へのメッセージを社協ホームページに掲載した。

事前研修のための動画はナレーションを市内の高校の協力を得て作成し、その取り組みが全社協のホームページ『つながりアクション』に掲載された。

- ・期間：令和2年7月20日～9月30日 73日間
- ・対象：市内在住、在学の小学校4年生以上の学生
- ・参加者数：延べ 243人
実人数 118人
- ・プログラム数：19施設 34メニュー

イ 視覚障害者のパートナー 盲導犬との交流体験（コ中止）

小学校4年生以上を対象に、盲導犬について正しく理解してもらうため、視覚障害者の講話と親子で盲導犬との交流体験を行う予定だったが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止とした。

ウ 車椅子でお買い物体験（コ中止）

小学校4年生以上を対象に障害のあるなしに関係なく、共に生活することについて考えるきっかけを作るため、親子で車椅子体験を行う

予定だったが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止とした。

エ ボッチャ親子交流体験（コ中止）

2020年東京オリンピック・パラリンピック大会競技でもあるボッチャを通じ、車いすユーザー、障害、障害者スポーツについて、親子を中心に理解を深める予定だったが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止とした。

オ ワークキャンプの実施 《再掲 P3-②-ア参照》

カ 車いすバスケットボール親子交流体験（コ中止）

2020年東京オリンピック・パラリンピック大会競技でもある車いすバスケットボールを通じ、車いすユーザー、障害、障害者スポーツについて、親子を中心に理解を深める予定だったが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止とした。

⑤ 福祉教育指導者との連携

ア 市内小中学校への福祉体験スクールへの協力

車椅子、アイマスク、手話等の体験及び福祉講話を通じて、障害者や高齢者への理解、またボランティアや支え合うことなどを学び、地域で「共に生きる」ことを考える機会を提供し、子どもたちが豊かな福祉観を持てるように図った。

㊦ 福祉体験実技への講師の派遣

学校別 体験内容	小学校		中学校		体験内容別計	
	回数	参加者	回数	参加者	回数	参加者
車椅子	1	69	0	0	1	69
盲人ガイド	1	69	0	0	1	69
手話	2	219	2	282	4	501
点字	0	0	0	0	0	0
高齢者疑似体験	0	0	0	0	0	0
合計	4	357	2	282	6	639

㊧ 福祉講話への講師の派遣

学校別 講話内容	小学校		中学校		講話内容別計	
	回数	参加者	回数	参加者	回数	参加者
視覚障害者	1	62	0	0	1	62
聴覚障害者	0	0	0	0	0	0
車椅子生活者	0	0	0	0	0	0

福祉・ボランティア	0	0	2	282	2	282
合 計	1	62	2	282	3	344

イ 認知症サポーター養成講座

認知症高齢者やその家族を支援する者の養成を目的に市内小中学校を対象に認知症の正しい知識を普及、啓発を行った。

- ・小学校 4校 440人
- ・中学校 2校 187人

⑥ その他

ア 福祉協力員の支援

地域福祉の更なる充実を図るため、地区社協が福祉協力員及びボランティアの育成を行うと共に、福祉協力員を登録し、日常的な見守り活動と地域福祉支援体制づくりを推進していく活動等に支援し助成した。

- ・実施地区社協

(補助金：1会場につき15,000円、活動事務費として年5,000円)

地区社協	開催日	内 容
第10地区	7月13日	福祉協力員研修会（コ中止）
	2月6日	福祉協力員研修会（コ中止）
第11地区	9月30日	川越市の在住外国人について
	2月24日	来年度の福祉協力員の事業展開計画を提案
南古谷地区	1月6日	地域の仲間づくりについて（グリーンパークの事例について）（コ中止）
	2月3日	災害時の福祉協力員の役割について（コ中止）
	3月3日	マイ・タイムラインの作成について（コ中止）
大東地区	通年	自治会内での見守り活動及び安否確認の推進
名細地区	9月5日	風水害の備えと避難行動について
	11月5日	これからの福祉協力員の役割 地域包括支援センターの役割 地域における見守り活動について
川鶴地区	9月15日	川鶴地区のコミュニティ

イ 社会貢献活動等の促進

企業における社会貢献活動等が活発となるように働きかけを行い福祉活動の場所や人事育成の機会の提供をした。

- ・(株)ベルク・・・移動販売車の運行について話し合いを行った。
- ・メモリード・・・地域活動団体への空きスペース等の提供について調整した。

ウ 介護支援いきいきポイント事業の実施

川越市内在住の65歳以上の高齢者の方が、自身の介護予防を目的に介護関連施設等において利用者への支援活動(ボランティア活動)を実施した場合にポイントを付与し、活動の奨励金若しくは川越市の特産品と交換できる事業を実施した。

- ・対象者向け登録者研修会 (単位：人)

開催日	場所	参加者	新規登録者	新規保険加入者数
4月23日	南公民館(コ中止)	0	0	0
7月17日	西文化会館	0	0	0
9月24日	総合福祉センター オアシス	3	3	3
10月7日	総合福祉センター オアシス	3	3	3
10月19日	総合福祉センター オアシス	2	2	0
4月～3月	社協窓口	2	2	0
合計		10	10	6
登録者数			508	

- ・受入機関登録状況
 - 新規登録事業所数 1事業所
 - 実受入事業所数 14事業所
 - 登録事業所数 116事業所

- ・活動内容 (単位：人)

① レクリエーション等の指導、参加支援	45
② 施設の催事に関する手伝い(模擬店、会場設営、利用者の移動補助、芸能披露等)	15
③ 散歩、外出、屋内移動の補助	0
④ 話し相手、傾聴、朗読	234
⑤ お茶出し、食堂内での配膳・下膳等の軽微な業務の補助	159

⑥ 施設職員とともに行う軽微かつ補助的な作業（清掃・草刈の補助、洗濯物の整理等）	85
⑦ オレンジカフェに係る傾聴、配膳、レクリエーション指導等の補助	0
合 計	538

(2) 安心してボランティアができる環境づくり

① ボランティアセンター、ボランティアビューローの充実

相談、登録、調整等のコーディネート機能の充実

ア ボランティアアドバイザーの配置（コ縮小）

ボランティア活動に関する相談や調整等を迅速に遂行するため、オアシス内のボランティア室及びボランティアビューロー（西・南・保健センター）にボランティアアドバイザーを配置し、ボランティアの相談や調整業務を行った。新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、開設日を縮小して開設した。

名 称	人 数	勤務日	時間	勤務形態	開設日数
ボランティア室	6	火・水・金・土	10時 ～ 15時	2人制 交代 勤務	128日
ビューロー西	5	水・土			57日
ビューロー南	5				57日
ビューロー保健センター	5	水・金			63日

*新型コロナウイルスの影響で2度にわたり、ボランティア室及び各ビューローを休業した。

イ 定例会の開催

開設月最終月曜日に、定例会を開催し、情報交換（コロナ禍での活動の注意点含）等を行った。

② ボランティア登録の促進

ア ボランティア相談、登録、調整等の推進

ア ボランティア登録者

- ・グループ：182団体、3,357人（前年比：△61団体、△984人）
- ・個人：323人（前年比：△313人）

イ 活動希望者の相談業務の実施

- ・ボランティア活動希望相談（単位：件）

区分	ビューロー ボランティア室	ビューロー 西	ビューロー 南	保健 センター	合 計
個人	220	38	22	43	323

グループ	100	39	27	16	182
合 計	320	77	49	59	505

・ボランティア派遣希望相談 (単位:件)

区分	ビューロー ボランティア室	ビューロー 西	ビューロー 南	保健 センター	合 計
個人	0	0	0	0	0
グループ	74	4	0	0	78
施設	307	148	107	11	573
その他	9	0	17	4	30
合 計	390	152	124	15	681

㊦ ボランティア派遣業務の実施

・派遣依頼内容 (単位:件)

内容	ビューロー ボランティア室	ビューロー 西	ビューロー 南	保健 センター	合 計
行事支援	0	1	0	0	1
スポーツ関係支援	106	0	0	0	106
趣味技能関係支援	64	36	1	1	102
外出介助支援	0	0	0	0	0
作業・活動支援	102	98	72	0	272
保育支援	4	4	7	8	23
芸能披露支援	26	13	11	2	52
傾聴支援	88	0	33	2	123
その他支援	0	0	0	2	2
合 計	390	152	124	15	681

・派遣状況 (単位:人)

内容	ビューロー ボランティア室	ビューロー 西	ビューロー 南	保健 センター	合 計
行事支援	0	0	0	0	0
スポーツ関係支援	120	0	1	0	121
趣味技能関係支援	11	0	0	0	11
外出介助支援	0	0	0	0	0
作業、活動支援	77	440	0	0	517
保育支援	11	2	0	10	23
芸能披露支援	83	0	17	12	112

傾聴支援	21	0	13	0	34
その他支援	16	0	0	0	16
合 計	339	442	31	22	834

③ 学習会、研修会の開催

ア ボランティア研修会、各ボランティアビューロー登録ボランティア学習会及び交流会の開催

㊦ ボランティアビューロー視察研修の実施（コ中止）

登録ボランティアを対象とした視察研修は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止とした。

㊧ 各ボランティアビューロー登録ボランティア学習会及び交流会の開催（コ中止）

登録ボランティア学習会及び交流会は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止とした。

④ その他環境の整備

ア 登録ボランティアグループ活動費の助成

- ・助成グループ数：14 グループ
- ・助成金額：216,380 円

※算出方法（@380 円×会員数）+ 10,000 円／グループ

イ ボランティア活動保険の加入促進

ボランティア活動中の事故に備え、保険への加入促進を行った。

- ・加入者数：3,639 人
- ・保険の申請件数：4 件

加入プラン	保険料	備考
基 本 プ ラ ン	350 円	
天災・地震補償プラン	500 円	基本タイプ+地震、噴火、津波

3 さまざまな人と交流し、みんなで支え合う地域にしよう

～思いやりのある地域コミュニティの復活のために

地区社協、自治会、民生委員・児童委員等が地域でさまざまな活動を通じて身近な地域でのつながりを深めるなど、地域コミュニティの活性化を図り、日々の暮らしの中での見守りや目配りといった日頃からの支援体制の構築に努めます。

(1) 地域コミュニティの活性化

(地域福祉課)

① 地区別福祉懇談会の開催及び支援

地区社協で開催した地区別福祉懇談会及び他市団体との情報交換会において、地区内の支え合い、たすけあい活動の内容や体制、担い手育成等の状況などについての話し合い及び地区別福祉プランの進行管理、次年度以降の事業計画の作成等を支援した。

・地区別福祉懇談会及び情報交換会等開催状況

地区	開催日	会場	人数
第 5 地区	8 月 28 日	小仙波町自治会集会所（コ中止）	-
第 6 地区	12 月 22 日	脇田町会館	11
第 10 地区	4 月 18 日	六軒町会館（コ中止）	-
第 11 地区	2 月 24 日	新宿町五丁目自治会集会所	40
芳野地区	7 月 29 日	芳野公民館	28
南古谷地区	12 月 16 日	東部地域ふれあいセンター	59
高階地区	7 月 22 日	寺尾公民館	19
名細地区	2 月 6 日	名細市民センター（コ中止）	-
合計	5 地区、5 回	5 か所	157

② 地域福祉推進のための活動拠点の整備

川越市地域福祉計画及び川越市地域福祉活動計画に基づき、相談業務だけでなく地域福祉推進のための活動拠点として、CSW相談窓口の出先を3か所開設し、市民からの相談に応じた。

(2) 支え合い・助け合い活動を充実させ、もしものときに助け合える関係の構築 （地域福祉課、生活支援課）

① 地域ニーズに応じたサービスの創出

生活支援体制整備推進事業における住民主体の支え合い、助け合い活動として、多世代交流の居場所づくりや生活支援サービスの立ち上げ、活動についての相談に応じた。

・令和2年度立上げ支援を行ったサービスや多世代交流の場

実施団体	内 容	地区	開始日
Café Coide	子ども食堂	第 4	R3. 2 月～
サポート西小	家事支援	第 5	R2. 12 月～
地域包括支援センター 小仙波	サロン (みんなでしゃべる会)	第 7	R2. 11 月～
みんなの食堂 実行委員会	フードパントリー	高階	R3. 3 月～
合同会社 thank 大衆酒場提灯むら	子ども食堂	名細	R3. 3 月～

② 小地域ふれあい活動の支援

ア 地区別福祉プラン推進の支援 【推進目標】

「みんなで作る福祉のまち川越プラン」における地区別の福祉プランの進行管理や地区の支え合い・助け合い活動を促進するため、地区社会福祉協議会の区域ごとに、話し合いの場がもたれるように支援を行った。

イ 一人暮らし高齢者集い事業、在宅高齢者等給食サービス事業、プラン事業、世代間交流事業等地区社協活動の支援

⑦ 一人暮らし高齢者集い事業（高齢者の集い）の促進

地域において、温かな人間関係と共に生きるコミュニティづくりを促進するため、高齢単身者と地区社協、自治会、民生委員児童委員、ボランティア等が一同に会し実施したふれあいの集いに対し、活動の支援と助成を行った。

・実施 2 の地区社協（補助金：一人につき 1,000 円）

地区社協	開催日	参加者	地区社協	開催日	参加者
第 2 地区	11 月 4 日	13	福原地区	2 月 22 日	(コ中止)
第 5 地区	11 月 7 日	(コ中止)	名細地区	12 月 7 日	42
	11 月 25 日			3 月 8 日	
第 9 地区	9 月 20 日	(コ中止)	合 計	2 地区	55
芳野地区	6 月 16 日	(コ中止)			
	11 月 17 日				
	3 月 2 日				

⑧ 在宅高齢者等給食サービス事業（ふれあい型食事サービス）の充実

一人暮らし高齢者等の健康の保持、安否の確認や交流を行いながら在宅の生活を支える給食サービス事業に対し、活動の支援と助成を行った。

・実施 15 の地区社協

地区社協	食数	種別	回数	対象者	給食調製方法	助成額（円）
第 1 地区	576	配食	24	24	買上げ (社会福祉施設)	213,120
第 4 地区	51	配食	4	22	買上げ	18,870
第 5 地区	95	配食	2	53	買上げ	35,150
第 9 地区	2,300	配食	13	190	買上げ	851,000
第 10 地区	1,320	配食	24	55	買上げ (社会福祉施設)	488,400
芳野地区	259	配食	12	24	買上げ (社会福祉施設)	95,830

南古谷地区	450	配食	10	45	買上げ (社会福祉施設)	166,500
高階地区	2,400	配食	12	204	買上げ	888,000
福原地区	500	配食	10	50	買上げ (社会福祉施設)	185,000
大東地区	1,080	配食	24	45	買上げ (社会福祉施設)	399,600
霞ヶ関地区	630	配食	13	48	買上げ (社会福祉施設)	233,100
霞ヶ関北地区	70	会食	3	80	手作り	25,900
名細地区	2,400	配食	11	200	買上げ	888,000
山田地区	97	配食	2	50	買上げ	35,890
川鶴地区	138	配食	2	40	買上げ	51,060
合計	12,366			1,130		4,575,420

㊦ プラン事業の促進

地区社協が作成した地区別福祉プランに基づき、自主的に取り組む地域福祉活動を支援し、活動の定着化を図ることを目的としたプラン事業を促進した。

- ・第1地区社協プラン事業
いもっこ体操教室（各自治会館）
毎月5会場で実施 参加者：延べ600人
- ・第2地区社協プラン事業
いもっこ体操・介護予防教室（石原町公民館、六塚会館、仲町自治会館、幸町自治会館）
毎月4会場で実施 参加者：延べ70人
- ・第4地区社協プラン事業
いきいき体操・グラスアート（大手町自治会館、元町一丁目自治会館）
年4回 参加者：延べ50人
- ・第6地区社協プラン事業
いもっこ体操、介護予防教室、防犯教室
毎月2会場で実施 参加者：210人
- ・第7地区社協プラン事業（コ中止）
いもっこ体操、交流親睦
- ・第9地区社協プラン事業
いもっこ体操（旭町1丁目自治会集会所）

- 週 4 回 参加者：延べ 1,380 人
- ・第 10 地区社協プラン事業
友愛訪問事業のサポートとして協働で見守り活動等
参加者：延べ 100 人
 - ・第 11 地区社協プラン事業
いもっこ体操（新宿町五丁目自治会集会所）
月 1～2 回 参加者：367 人
 - ・芳野地区社協プラン事業
いもっこ体操（北田島自治会センターほか）
月 1～2 回 参加者：延べ 711 人
 - ・南古谷地区社協プラン事業
いきいきサロン（各自治会館）
月 1 回 参加者：延べ 624 人
 - ・高階地区社協プラン事業（コ中止）
いもっこ体操
 - ・名細地区社協プラン事業
ふれあいサロン、健康体操教室等（各自治会館等）
月 1 回 参加者：延べ 566 人
 - ・山田地区社協プラン事業
ひとり暮らし高齢者等を対象に見守り活動
月 1 回 参加者：50 人

㊦ 世代間交流事業の促進

地域住民の希薄になりがちな人間関係に対し、各世代がお互いにふれあうことで理解と思いやりの心を醸成し、住みよい福祉のまちづくりを目的とした活動に助成し、世代間交流を促進した。

・実施 2 地区社協（補助金：1 地区 50,000 円／年間）

地区社協	開催日	内 容（ ）は開催場所	参加者
第 2 地区	7 月 4 日	七夕まつり（コ中止）	-
第 9 地区	7 月 6 日	納涼盆踊り大会（コ中止）	-
芳野地区	7 月 12 日 8 月 2 日	天王様・夏防ぎ （中老袋自治会館） 中老袋自治会館清掃 （中老袋自治会館）	延べ 74
古谷地区	11 月 1 日	グラウンドゴルフ大会 （コ中止）	-
大東地区	11 月 3 日	芋掘り大会（荒畑農園）	延べ 570

名 細 地 区	5 月 29 日	上戸小(学園祭) (コ中止)	-
	9 月 20 日	名細小(ふれあい祭り)(コ中止)	
		広谷地区(グラウンドゴルフ大会)(コ中止)	
	10 月 11 日		

ウ 子育てサロン、生きいきサロン等の促進 (コ中止)

川越市民生委員児童委員協議会連合会主任児童委員部会と共催で行う、子育てサロンまつり開催に向け検討を進めていたが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止とした。

エ 近隣助けあい見守り活動の体制整備

川越市福祉推進課及び地域包括ケア推進課と共に地域福祉計画、地域福祉活動計画及びすこやかプランに基づく取り組みについて定期的に協議を行い、地域福祉サポートシステムの構築に関する検討、生活支援体制整備推進事業の推進に向けた、地域住民同士の支え合い、助け合い活動の充実の必要性についての説明を行い、新たな仕組みづくりについて検討する話し合いの機会をつくった。

見守り活動に関しては、民生委員児童委員協議会の活動や地区社協の緊急連絡カード事業で把握した要援護者を支援するため、福祉マップ作成のための地図を提供するなどその体制づくりを支援した。

また、近隣助け合い見守り活動の推進事業のひとつとして 65 歳以上の一人暮らしの方を対象とした緊急連絡カード事業(緊急対応のシステムづくり)の普及に努めた。

・実施 22 の地区社協 (単位：人)

地区社協	対象者	地区社協	対象者	地区社協	対象者
第 1 地区	318	第 2 地区	87	第 3 地区	358
第 4 地区	108	第 5 地区	210	第 6 地区	201
第 7 地区	329	第 8 地区	82	第 9 地区	245
第 10 地区	168	第 11 地区	154	芳野地区	11
古谷地区	112	南古谷地区	214	高階地区	909
福原地区	375	大東地区	446	霞ヶ関地区	333
霞ヶ関北地区	395	名細地区	523	合 計	5,789
山田地区	141	川鶴地区	70		

オ 友愛訪問事業実施の支援

㊦ 友愛訪問事業(近隣助けあい見守り活動)の促進

地域の中で孤立しがちな高齢者や障害者に対して、ボランティアや近隣住民が訪問活動を行うことにより、温かい人間関係を築き、共

に生きるコミュニティづくりをするため援助活動に助成した。

・実施 21 の地区社協 (補助金：1 地区 60,000 円／年間)

地区社協	内 容
第 1 地区	安否確認、健康状態の把握、振り込め詐欺や防災・防犯への注意呼びかけ (月 1 回実施) 12 月⇒障害者に見舞金の配付 1 月⇒高齢者に生姜湯の配付
第 2 地区	安否確認、健康状態の把握、振り込め詐欺や防災・防犯への注意呼びかけ等 (年 1 回実施) 10 月⇒75 歳以上の一人暮らしと二人暮らしの家庭に粗品配付
第 4 地区	安否確認を兼ねて、訪問、電話等現状に併せて声かけ (月 1 回実施) 11 月⇒手指消毒の配布 1 月⇒お茶葉、手作り絵馬の配布
第 5 地区	安否確認、健康状態の把握、振り込め詐欺や防災・防犯への注意呼びかけ、市や警察等への情報提供 (月 1 回実施) 年 2 回粗品配付
第 6 地区	安否確認、健康状態の把握、防犯への注意呼びかけ、市や地域包括支援センター、警察関係の情報提供 (月 1 回実施)
第 7 地区	安否確認、健康状態の把握等 (年 1 回実施)
第 8 地区	安否確認、健康状態の把握 (年 1 回実施) 12 月⇒タオルの配布
第 9 地区	安否確認、おしゃべりサロン、ラジオ体操等への参加、生活相談、防災・防犯への注意呼びかけ等 (月 1 回実施)
第 10 地区	安否確認、健康状態・生活状態の把握、振り込め詐欺や防災・防犯への注意呼びかけ (月 1 回実施) 年末年始マスク配付
第 11 地区	地区内 70 歳以上一人暮らし対象者の家庭訪問・見守り (月 1 回実施) 年に 1 度、啓発品の配付
芳野地区	安否確認、健康状態の把握 (月 1 回実施)
古谷地区	安否確認、健康状態の把握、防犯への注意呼びかけ (月 1 回実施) 12 月⇒記念品の配付
南古谷地区	安否確認、振り込め詐欺や防災・防犯への注意呼びかけ等 (月 1 回程度実施)

高階地区	安否確認、健康状態の把握、振り込め詐欺や防災・防犯への注意呼びかけ等（月1回実施）
福原地区	65歳以上の一人暮らし、高齢者夫婦、寝たきり高齢者等を対象に見守り（月1回実施）
大東地区	安否確認、健康状態の把握、相談活動、詐欺や防犯への注意呼びかけ等（月1回以上） お茶とかわごえの水の配布
霞ヶ関地区	安否確認、健康状態の把握等（月1回）
霞ヶ関北地区	70歳以上一人暮らしを対象に近況等の確認、詐欺や防犯への注意呼びかけ等（月1回） 7月、1月⇒麦茶配付、マスク配付
名細地区	安否確認、健康状態の把握、振り込め詐欺への注意呼びかけ等（月1回）
山田地区	一人暮らし高齢者、重度障害者、寝たきり高齢者を対象に安否確認、健康状態の把握等（月1回）
川鶴地区	訪問、電話連絡による安否確認、振り込め詐欺や防犯への注意呼びかけ等（月1回） 7月・8月⇒お茶を配布しながら熱中症予防の呼びかけ 年末⇒お菓子の配付、年始⇒お茶の配付

※第2地区と芳野地区については、補助金の支出はありません。

カ 子育て支援に関する事業の拡充 【推進目標】（コ中止）

子育て世代及び子どもを対象とした親子リフレッシュ事業の開催を予定していたが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止とした。

キ 地域福祉活動の支援

地域組織との共同を推進するとともに、地域における福祉活動の解決に寄与することを目的として、地域福祉活動を実践又は実施しようとしている個人・団体に対して、新たに本会の事業として補助金を交付した。

- ・交付団体：8団体
- ・総交付額：396,000円

ク 地区社協の体制強化 【推進目標】 ≪再掲 ※P3-(2)-①参照≫

③ 福祉協力員の普及 【重点施策】

ア 福祉協力員の仕組みづくり ≪再掲 ※P8-⑥-ア参照≫

イ 地域見守り活動体制の整備（福祉協力員による活動推進）（拡充）

地域見守り活動を推進するための人材として、福祉協力員の配置を検討し、地区社協へ活動に向けての仕組みづくり、人材確保の方法等についての説明会を開催するなど担い手確保に向けた啓発に努めるとともに、福祉協力員の養成研修を開催した。

補助金申請地区

- ・福祉協力員数：431人
- ・実施地区：6地区

(第10地区、第11地区、南古谷地区、大東地区、名細地区、川鶴地区)

④ 在宅福祉サービスセンター（かわごえ友愛センター）事業の充実

住民相互の助けあいによる会員制、有償・有料制の家事援助サービスを実施し、在宅で要援護状態にある高齢者や障害者等に対し、協力会員を派遣し、家事援助等の支援を行い、日常生活の向上を図った。

ア 地区社協等関係団体、機関等との連携

地区社協、民生委員児童委員、地域包括支援センター、居宅介護支援事業所等と連携しながら、かわごえ友愛センター利用希望者の調整を図り、利用会員等の問題解決にあたった。

イ 会員加入の促進

会員募集などの情報を全戸配布の「社協だより」、「ホームページ」、「Facebook」及び「Twitter」に掲載した。また、市内スーパーマーケットにチラシの掲示を依頼し、会員加入の促進に努めた。

ウ 協力会員実習及び定例会の開催

かわごえ友愛センター現任協力会員に対し、資質向上のための実習を行うとともに、協力会員との意見交換や注意を促すための定例会を行った。

- ・1回 参加者数：10人 会場：川越市総合福祉センター

開催日	実習内容	参加者
9月14日	・掃除実習 お掃除の基本 -方法と工夫- ・定例会 業務連絡、事故注意喚起等	10

エ 協力会員学習会及び定例会の開催

かわごえ友愛センター現任協力会員に対し、学習会や定例会を通じて、会員間の交流及び情報交換を図った。

- ・1回 参加者数：延べ14人 会場：川越市総合福祉センター

開催日	研修内容	参加者
12月17日	<ul style="list-style-type: none"> ・ グラスアート教室 ペン立て及び眼鏡ケースにグラスアート作成 ・ 定例会 業務連絡、川越市高齢者家具転倒防止器具等取付事業の紹介 	14

オ 友愛センター会員状況

・ 会員登録状況

会員別	登録者数	前年比
利用会員	240	+9
協力会員	131	+8
賛助会員	92	+27
計	463	+44

・ 派遣状況

項目	活動状況
実利用人員（人）	178
派遣日数（日）	317
派遣時間（時間）	6,630
実派遣人員（人）	86
派遣回数（回）	4,202

・ 利用状況及び利用者数

利用会員内訳	登録数	実利用者数	利用会員内訳	登録数	実利用者数
一人暮らしの高齢者	99	75	知的障害児・者	1	0
高齢の夫婦世帯	48	36	精神障害児・者	1	0
高齢者を含む世帯	45	37	精神疾患（手帳なし）	2	1
認知症	1	0	病気・けが等の事由	7	4
身体障害児・者	28	19	妊産婦・児童	8	6
			合計	240	178

⑤ 災害ボランティアセンター運営のための備品等の整備

災害時において円滑に災害ボランティアが活動できるように、備品を整備した。

【スタッフ50名及びボランティア400名分を想定】

ヘルメット、防じんマスク、ゴーグル、ボランティア用ベスト、トランシーバー、一輪車など107品目・約2,000点

4 地域でのネットワークをつくろう

～地域全体で支える福祉の実現のために

自治会、民生委員児童委員、社会福祉事業者、ボランティア団体等地域にあるさまざまな機関・団体の連携、協力の基、地域におけるネットワークの構築を図ります。

(1) 各種関係団体の連携促進 (地域福祉課、生活支援課)

① 各地区社協、民生委員児童委員協議会への支援

地区社協会長連絡会の支援、川越市民児連等各種団体及び関係機関との連携の強化

㊦ 地区社協会長連絡会の開催

開催日	出席者	内 容
8月17日	22人	協議事項 (1) 任期満了に伴う会長連絡会役員の選任について (2) 委員の推薦について (3) 地区社協事業について 報告事項 (1) 次期「みんなでつくる福祉のまち川越プラン」について (2) 川越市地区社会福祉協議会周知用チラシについて
2月(書面)		協議事項 (1) 地区社協の周知活動について (2) 令和3年度地区社協事業について 報告事項 (1) 地区社協活動の地区広報誌等への掲載について (2) 令和2年度及び令和3年度地区社会福祉協議会事業の申請及び返金等について (3) 令和2年度助成事業実績報告書及び令和3年度地区社会福祉協議会事業活動費助成金等交付申請書の提出について

	その他 (1) 令和3年度貸切バス借り上げについて (2) 令和3年度川越市春季戦没者追悼式の開催について
--	---

① 川越市民児連との協働事業の実施 《P41-⑦-①参照》

歳末たすけあい援護事業の実施にあたり、民生委員児童委員及び行政等の協力を得て要援護者を把握するため、調査を行った。

② 地域会議の活動をはじめとした地域活動への支援

地区社協の福祉懇談会の開催を支援、助成し、地域福祉活動の活性化とその促進を図った。

- ・実施 5の地区社協5会場に助成(補助金:開催1回につき10,000円)
《再掲 P12-(1)-①参照》

③ 高齢者、障害のある人、子育て、介護者等当事者団体の連携促進

ア 各種団体の育成援助と連携事業の実施

各種団体7団体の管理事務

- ・川越市民生委員児童委員協議会連合会
- ・川越市障害者団体連絡協議会
- ・川越市身体障害者福社会連合会
- ・川越市老人クラブ連合会
- ・川越市遺族会
- ・川越市在宅介護者友の会
- ・川越市ボランティア連絡会

イ 団体交流室の利用

団体交流室の利用状況

- ・延べ利用団体数30団体
- ・延べ利用者数:182人(男66人・女116人)

④ 各ボランティアビューローと社会福祉事業者等との意見交換(コ中止)

(2) 分野を超えた協力体制の整備 (地域福祉課)

① 見守りのネットワーク構築 【重点施策】

新型コロナウイルス感染症により、新しい生活様式に対応した見守り活動の相談に応じた。

② コミュニティソーシャルワーカーの配置 【重点施策】

コミュニティソーシャルワーカーの体制整備 【推進目標】(拡充)

地域福祉推進の中心的な役割を担うコミュニティソーシャルワーカーが、地域における福祉課題をチームアプローチで解決できる体制づくりを目指すことを目的に、啓発を行った。《P4-(1)-①参照》

③ 行政機関との連携による地域福祉の推進

「みんなでつくる福祉のまち川越プラン」の推進に向け検討を行い、地区社協、地区民児協等の各種会議の中で、地域福祉の仕組みづくりや具体的な方策等についての講義など、啓発及び周知に努めた。

④ 多問題を抱える要支援者の自立支援

地域福祉サポートシステム構築に向け、市内全域にコミュニティソーシャルワーカーを配置し、市民の福祉課題の解決に向けた相談支援や地域福祉活動のしくみづくりを行った。

また、民生委員や地域住民からの要援護者に関する対応についての相談に応じ、適切な関係機関への取り次ぎ、多問題を抱えるケース支援として、地域包括支援センター、民生委員、福祉協力員、ボランティア等と協力し、住居環境の改善や住居確保等の相談に応じるなどの支援をした。

また、生活を安定させるための制度（生活保護、川越市自立相談支援センター、彩の国あんしんセーフティネット事業等）の利用を援助するなどの支援を行った。

⑤ 他職種連携の場（ケース会議等）の設定

要援護者が安定した生活を送れるように、必要と思われる他職種（自治会、民生委員、地域包括支援センター、行政等）が連携しながら支援をするため、ケース会議等を行い、要援護者の問題解決に向けた話し合いを行った。

⑥ 保健・医療・福祉の連携

ア 要援護者に関する対応として必要と思われる保健・医療・福祉の関係機関が、問題解決に向け連携できよう啓発及び周知を行った。

イ コミュニティケアネットワークかわごえの活動への参加

第8回 医療介護フォーラム 令和3年2月13日

5 だれもがいきいきと安心して暮らし続けられる地域にしよう ～地域の中で、その人らしく安心して暮らせるために

市民が抱える福祉の問題が複雑化、多様化している中で、要支援者の生活を「周囲による手助け」と「公的な福祉サービス」との組み合わせにより支援し、市民がいきいきと安心して生活できる仕組みづくりを推進します。

(1) だれもがいきいきと暮らせる地域の創設（総合福祉センター、地域福祉課）

① 総合福祉センターの管理、運営

指定管理者として指定を受け、次の管理運営業務及び自主事業を行った。

ア 施設の利用状況

- ・開館日数：248日（※前年比92%）
（新型コロナウイルスによる臨時休館：49日間）
（新型コロナウイルスによる一部休館：71日間）
- ・利用者総数：19,960人（男10,021人 女9,939人）（※前年比22%）

㉞ 高齢者福祉センター事業

- ・利用者数：16,415人（男8,154人 女8,261人）（※前年比25%）

貸室	人数	貸室	人数
プール	10,108	体育室	2,499
大広間	104	浴室	0
教養娯楽室	123	第1研修室	1,310
第2研修室	214	社会適応訓練室	2,057
調理実習室	0	創作室	0
機能回復訓練室	0		

㉟ 障害者福祉センター事業

- ・利用者数：3,377人（男1,824人 女1,553人）（※前年比17%）

貸室	人数	貸室	人数
プール	2,095	体育室	740
大広間	60	浴室	0
教養娯楽室	19	第1研修室	103
第2研修室	118	社会適応訓練室	190
調理実習室	0	創作室	0
おもちゃライブラリー	0	点訳室	52
日常生活訓練室	0	機能回復訓練室	0

㊱ その他の事業（視察、相談） ≪P27-㊱参照≫

- ・利用者数：139人（男18人 女121人）（※前年比13%）

㊲ 一般利用

- ・プール一般利用
利用者数：29人（男25人 女4人）（※前年比1%）
- ・体育室一般利用
利用者数：0人（男0人 女0人）（※前年比0%）

㊳ サークル活動等の活動状況

- ・団体数：64 団体（※前年比 97%）
 - ・活動回数：359 回（※前年比 42%）
 - ・利用人数：延べ 4,249 人（※前年比 39%）
 - ・種目：囲碁、将棋、川柳、写真、水墨画、書道、太極拳、健康体操、
社交ダンス、卓球、ボッチャ、サウンドテーブルテニス等
- ※サークル活動の利用人数は、上記㉞㉟の貸室人数に含めています。

イ 高齢者福祉センター事業、障害者福祉センター事業の実施

㉞ 講座の開催

高齢者及び障害者を対象に各種講座を開催し、17 講座に延べ 620 人が参加した。（※前年比 6.2%）

- ・対象者：60 歳以上の高齢者

目的	講座名	講座数	延べ参加者
自立支援		0	0
生きがいつくり		0	0
健康の維持増進	認知症予防	1	34
重複等するもの		0	0
	合計	1	34

- ・対象者：障害者（身体障害者、知的障害者、精神障害者）

目的	講座名	講座数	延べ参加者
自立支援	青年学級	1	34
生きがいつくり		0	0
健康の維持増進		0	0
重複等するもの	ZOOM（ズーム）であそぼう！	1	22
	合計	2	56

- ・対象者：高齢者及び障害者同時対象

目的	講座名	講座数	延べ参加者
自立支援	終活のすすめ教室、パソコン年賀状教室等	7	245
生きがいつくり	大人のぬり絵、ボイストレーニング等	4	209
健康の維持増進	転倒予防、お家トレーニング等	3	76
重複等するもの		0	0
	合計	14	530

- ・新型コロナウイルス感染症拡大防止のため規模縮小した事業

対 象	講 座 名	概 要
障害者対象	青年学級	全体活動は中止 個別に野菜収穫
高齢者及び障害者同時対象	大人のぬり絵	10回中6回中止
	実用ペン字教室	10回中7回中止
	ビーズアクセサリ教室	8回中3回中止

・新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、中止した事業

対 象	講 座 名	中止講座数
高齢者対象	関節らくらく体操A～転倒予防～等	6
障害者対象	アクアスポーツレッスン、英語であそぼう教室 等	29
高齢者及び障害者同時対象	オアシス川越学教室、オカリナ教室 等	9
合 計		44

① 心身障害児（者）緊急一時保護事業

- ・対象者：保護者又は家族の冠婚葬祭等により、緊急に保護を必要とする心身障害児（者）

※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため受入れできず

② おもちゃライブラリー

- ・対象者：就学前の障害児と保護者

※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため受入れできず

③ 相談事業

身体の悩みを抱えているが、病院に行くことを迷っている方や病院では聞きにくいという方などを対象に、医師による健康相談を毎月1回行った。また、看護師による健康相談と理学療法士によるリハビリ相談は、随時受付けて行った。

- ・医師相談

内容：医師による相談（12月の1回）

利用者数：利用者数：延べ2人（男0人 女2人）（※前年比3%）

- ・健康相談

内容：看護師による相談

利用者数：利用者数：延べ0人（男0人 女0人）（※前年比0%）

- ・リハビリ相談

内容：理学療法士によるリハビリに関する相談、運動メニューの紹介（6月～1月の8回）

利用者数：利用者数：延べ 137 人（男 18 人 女 119 人）

（※前年比 163%）

ウ 自主事業の実施

㊦ 一般対象向け講座（インターネット講座）の開催

自宅でそろえられる材料を使った創作活動や軽運動等の講座を、一般の方も参加できるように開催し、5 講座に延べ 18 人が参加した。

㊧ 血圧測定会（コ中止）

月に 1 回、看護師が利用者に対して血圧測定を行っているが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止とした。

㊨ 爪切り事業（コ中止）

自身で爪切りが困難な方を対象に、看護師が爪切りをすることで爪のケアなどの指導を行っているが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止とした。

エ その他

㊩ ボランティアの活動状況

- ・内容：プールでの障害者支援
- ・人員：延べ 21 人（※前年比 1.8%）

㊪ 視察等の受け入れ

※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため受け入れできず

㊫ 協賛事業等（コ中止）

- ・川越市敬老マッサージ
- ・川越市クールシェアスポット

㊬ 新型コロナウイルス感染症拡大防止のための措置等

・臨時休館

期間：令和 2 年 4 月 1 日（水）～5 月 31 日（日）

（令和 2 年 3 月 2 日より継続）

概要：新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、3 月から臨時休館となった。施設予約や利用登録証作成などの窓口業務のみ継続して行った。

・一部休館

期間：令和 2 年 12 月 28 日（月）～令和 3 年 3 月 31 日（水）

（4 月 1 日以降も継続）

概要：新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、12 月から一部休

館となった。上記業務の他に、既に予約されている登録団体には引き続き利用できるよう貸館業務を行った。

オ 事業運営に向けてのスキルアップ研修への参加

㊦ 外部研修

名 称	参加者
接遇研修	1
障害者施設職員研修会（新任職員コース）	1
自閉症カンファレンス NIPPON2020	1
埼玉県市町村社協連絡会 オンライン研修	1
スーパービジョン研修	1
認知症ケア研修（入門編）	1
甲種防火管理講習	1
初任者キャリアパス研修	1

㊧ 内部研修

名 称	参加者
汚物の安全な処理方法	51
血圧とは	51
血圧と運動	51
身体を動かすメカニズム	51
片麻痺について	51
脳性麻痺について	51
パーキンソン病について	51
小脳失調について	51
A L S について	51
ミオパチーについて	51
脊損について	51
知的について	51
加齢について	51
まとめ	51

② 老人福祉センター西後楽会館の管理、運営

指定管理者として指定を受け、次の管理運営業務を行った。

ア 利用状況

開館日数	183 日
利用者総数	4,646 人

内	男 性	3,288 人
	女 性	1,358 人
訳	個 人	4,646 人
	団 体	(0 団体)0 人
訳	市 内	4,646 人
	市 外	0 人
健康相談		195 人
送迎バス		(0 台) 0 人
内 訳	老人クラブ等団体	(0 台) 0 人
	地区巡回	(0 台) 0 人

イ 事業及び行事等の実施

相談事業	医師による健康相談	5 回 延べ 16 人
	看護師による健康相談	51 回 延べ 336 人
	心配ごと相談員による生活相談	6 回 延べ 16 人
川越市民の日	施設無料開放 12 月 1 日 12 月 6 日	
その他協賛事業等	交通安全運動広報（館内放送）	

ウ 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止した事業

団体受入れ		
相談事業	医師による健康相談	7 回
	看護師による健康相談	34 回
	心配ごと相談員による生活相談	6 回
定期事業	将棋大会 囲碁大会 バンパー大会	
季節行事等	七夕飾り付け 節分豆まき	
敬老の日	特別事業	
世代間交流		

エ 新型コロナウイルス感染症拡大防止のための措置等

期間：令和 2 年 4 月 1 日（水）から 6 月 1 日（月）まで臨時休館

令和 2 年 6 月 2 日（火）大広間を再開（人数制限）

令和 2 年 6 月 25 日（木）囲碁・将棋を再開（人数制限）

令和 2 年 6 月 30 日（火）風呂を再開（予約制、人数制限）

期間：令和 2 年 12 月 28 日（月）から令和 3 年 3 月 22 日（月）
まで臨時休館

令和 3 年 3 月 23 日（火）大広間、囲碁・将棋を再開（人数制限）

③ 高齢者が活躍できる場の提供

元気な高齢者が活躍できる場を提供するため、地区社協等と協力し地域の福祉協力員やボランティアとして活躍できるよう啓発及び周知をし、研修会等を実施した。また、地域の高齢者が集まる場としてサロン活動等が充実するよう、他機関と連携し調整を図った。

④ 親子リフレッシュ事業の展開 《再掲 ※P19-カ参照》

・新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止

⑤ 地域における高齢者への支援体制の充実強化 【推進目標】

地域における見守り体制や高齢者への支援体制の充実を図るため、サロン活動への協力等を行い、今後の支援体制の充実に向けての準備を行った。

⑥ 障害者の自立支援に向けた社会資源としての機能の充実【推進目標】

市社協が行う事業において、社協会費、赤い羽根共同募金、歳末たすけあい募金の資材梱包の作業について障害者施設と委託契約を結んでいる。

なお、例年、福祉の市や親子リフレッシュ事業で障害者施設の授産品販売を企画しているが、イベントが中止となり実施できなかった。

(2) だれもが安心して暮らし続けられる地域の創設

（地域福祉課、生活福祉課、総合福祉センター）

① 福祉総合相談窓口との連携 【重点施策】

月 1 回開催の福祉総合相談窓口話し合いに出席した。

② 各福祉分野におけるサービスの提供

ア 地域密着型通所介護事業の実施

介護保険の要介護認定で要介護状態及び要支援状態に認定された高齢者等に対して、その有する能力に応じて自立した日常生活ができるよう、機能訓練、日常生活上の世話、入浴サービス、給食及び送迎等のサービスを提供した。

・利用状況：実利用者数：37 人 延べ利用者数：2,377 人

	介護予防・日常生活 総合事業通所型サービス	地域密着型通所介護事業							合 計
	事業対象者	要支援		要介護					
		1	2	1	2	3	4	5	
延べ利用 者数	92	96	120	600	961	450	0	58	2,377

・研修会の実施及び参加

職員の資質の向上を図るため、研修会の実施及び他機関が実施する研修会等に参加した。

名 称	参加者
チームリーダーキャリアパス研修	1
中堅職員キャリアパス研修	1
オンライン研修（認知症・発達障害）	22
オンライン研修（感染症対策）	14
オンライン研修（接遇研修）	14
オンライン研修（高次脳機能障害）	14
オンライン研修（話し方）	22
職員研修（運転研修）	3
職員研修（接遇研修）	2

イ 地域活動支援センター事業の実施

日常生活を営むのに支障がある障害者等に対して、機能訓練、社会適応訓練、更生相談、介護方法の指導、創作的活動、入浴サービス、給食及び送迎等のサービスを提供した。

・利用状況：実利用者数：60人、延べ利用者数：2,391人

	1級	2級	3級	4級	知的	精神	医療	合計
延べ利用者数	1,226	587	229	96	134	90	29	2,391

※ 身体障害者手帳のほかに手帳を所持している利用者については、身体障害者手帳の等級で集計。

・研修会の実施及び参加

職員の資質の向上を図るため、他機関が実施する研修会等に参加した。

名 称	参加者
初任者研修キャリアパス研修	1
オンライン研修（認知症・発達障害）	7
オンライン研修（感染症対策）	8
オンライン研修（接遇研修）	9

職員研修（リハビリに関する研修）全6回	25
職員研修（ドライバー研修）全2回	8
職員研修（接遇研修）	1

ウ 生きがい活動支援通所事業の実施

介護保険の要介護者及び要支援者に該当しない65歳以上の在宅の高齢者のうち、家に閉じこもりがちな方を対象に、週1回の施設通所により、創作活動、趣味活動などの生きがい活動を支援するためのサービスを提供した。

- ・利用状況
実利用者数：44人 延べ利用者数：1,214人
- ・研修会の実施及び参加 <<※P31-ア参照>>
職員の資質の向上を図るため、他機関が実施する研修会等に参加した。

エ 生活管理指導員等派遣事業の実施

介護保険の要介護者及び要支援者に該当しない65歳以上の在宅の高齢者に対して、要介護状態への進行予防を図るため、日常生活に対する指導と家事援助等のサービスを提供した。

- ・利用状況 実利用者数：32人 延べ利用者数：1,060人
- ・サービス提供時間数 延べ1,060時間
内訳：生活管理指導員224時間30分 生活援助員835時間30分
- ・研修会の実施及び参加
職員の資質の向上を図るため、研修会の実施及び職員研修に参加した。

研修内容	参加者
熱中症予防について	9
緊急時の対応について	9
プライバシーについて	9
ヨガ体験	10
接遇研修	13
感染対策について	9
介護の日研修	1
児童虐待研修	1
話し方・折衝・交渉力向上研修	1
高齢者の消費者被害防止研修	1
スーパービジョン研修	1
初任者接遇研修	1

オ 川越市ファミリー・サポート・センター事業の実施

会員相互による育児の援助活動を促進することにより、仕事と育児を両立できる環境の整備を行うとともに、地域における子育て支援を図り、児童及び勤労者等の福祉の増進を図った。

- ・ 会員加入の促進

入会説明会の実施 随時

- ・ 援助活動の充実

提供会員講習会の開催 1回(3日間)登録者数4人/受講者数5人
子育て支援交流会の開催(中止)

- ・ 新型コロナウイルス感染予防への対応

コロナ禍における会員等の来訪に対して、飛沫感染防止パネル、非接触式検知器等の備品を購入、設置した。

- ・ 会員の登録状況

会員別	登録者数	前年比
提供会員	496	5
依頼会員	1,356	△102
両方会員	54	△6
合計	1,906	△103

- ・ 援助活動の状況

派遣回数：6,248回 派遣時間：5,255時間29分

- ・ 援助活動内容

援助活動内容	回数
保育所、幼稚園の登園前の預かり	35
保育所、幼稚園の送り	278
保育所、幼稚園の迎え	1,183
保育所、幼稚園の帰宅後の預かり	214
学童の放課後の預かり	62
放課後児童クラブ終了後の迎え	1,382
放課後児童クラブ終了後の預かり	241
子どもの病気等の援助	0
子どもの習い事等の場合の援助	1,438
保育所、学校等休み時の援助	30
保育所等施設入所前の援助	0
保護者等の短期間・臨時的就労の場合の援助	118
保護者等の求職活動中の援助	0
保護者等の冠婚葬祭による外出、他の子どもの学校行事の場合の援助	5

保護者等の買い物等外出の場合の援助	60
保護者等の病気、その他急用の場合の援助	6
他施設への送り	26
学童の留守宅送り	640
学童の朝の送り	395
在宅保育の援助	135
合 計	6,248

カ 盲人ガイドヘルパー派遣事業の実施

重度視覚障害者に盲人ガイドヘルパーを派遣し、社会生活を営む上での外出援助を行い、社会活動の拡大を図った。

・登録状況

種 別	登録者数	前年比
盲人ガイドヘルパー	45	△2
利用者	71	△3
合 計	116	△5

・派遣実績

派遣件数：636件 派遣時間数：1,462時間

キ バリアフリーマップ・ハザードマップ作成に向けての支援

各種会議においてマップ作成についての提案を行った。

③ 地域における相談支援体制の整備 《P36-(3)-①参照》

地域福祉推進のためにコミュニティソーシャルワーカーを配置した。

④ 相談事業

心配ごと相談所事業の推進

住民の生活のあらゆる相談に応じ、適切な助言・援助を行うために民生委員相当の経験を有する相談員との連携による心配ごと相談所事業を実施した。

相談内容	件数	相談内容	件数	相談内容	件数
生計	6	健康、保健、衛生	15	障害者(児)福祉	2
年金	1	医療	3	母子福祉・父子福祉	1
職業、生業	12	人権・法律	1	高齢者福祉	2
住宅	5	財産	0	苦情	0
家族	10	事故	0	その他	9
結婚	1	児童福祉・母子保健	1	合計	71
離婚	0	教育・青少年	2	実相談者数 36人	

⑤ 福祉車両、短期車イス等貸出事業

ア 福祉車両貸出事業

日常、車椅子を使用している方や外出の際に車椅子を必要とする方へ、社会参加の交通手段として、福祉車両の貸出を行った。

- ・車両保有台数：スロープ式軽自動車 1 台（ダイハツタント）
- ・貸出件数：16 件

イ 短期車椅子貸出事業

外出時に車椅子を必要とする高齢者や障害児(者)及び福祉団体等に車椅子の貸出を行った。

- ・車椅子保有台数：46 台（大人用 43 台、子ども用 3 台）
- ・貸出台数：111 台 個人 111 台、団体 0 台

(3) 安心できる生活を支える仕組みの整備（地域福祉課、生活支援課、総務課）

① 地域福祉サポートシステムの構築

地域福祉サポートシステム構築に向けてのモデル事業の展開

（コミュニティソーシャルワーカーの配置）

地域福祉サポートシステム構築に向けて、コミュニティソーシャルワーカーを配置し、地域の福祉活動支援や個別の相談に対応した。

圏域	対応件数	
	個別支援(件)	地域支援(件)
第 1、第 2、第 4、山田	9	48
第 5、第 6、第 7、第 8	20	54
第 3、第 9、第 10	5	23
芳野、古谷、南古谷	29	122
高階	32	41
第 11、福原	71	69
大東	9	57
霞ヶ関、川鶴	28	43
霞ヶ関北、名細	11	64
その他	4	39
合 計	218	560

相談室	対応件数、人数	
	個別支援	地域支援
東部地域ふれあいセンター	2 件	2 件
	2 名	2 名
大東市民センター	5 件	27 件
	5 名	26 名

西文化会館（メルト）	0 件	0 件
	0 名	0 名
合 計	7 件	29 件
	7 名	28 名

② 成年後見等制度利用支援事業の推進

ア 成年後見事業の事業内容の検討

㊦ 社会福祉法人川越市社会福祉協議会市民後見推進事業検討委員会及び法人後見事業協議会の開催（コ縮小）

- ・ 場所：総合福祉センター、書面会議
- ・ 開催回数：2 回

㊧ 法人後見協議会専門部会の開催

- ・ 場所：総合福祉センター、書面会議 開催回数：5 回

イ 市民後見人養成講座の実施

㊦ 成年後見入門講座の実施（※公開講座の代替として実施）

- ・ 開催日：令和 2 年 9 月 26 日、10 月 21 日
- ・ 場所：総合福祉センター
- ・ 参加者：32 名

㊧ 市民後見人養成講座（フォローアップ研修）の実施（コ縮小）

- ・ 市民後見人養成講座修了者
- ・ 開催日：令和 2 年 9 月 19 日
- ・ 場所：総合福祉センター
- ・ 参加者：延べ 3 人

㊨ 市民後見人候補登録者（コ中止）

ウ 障害者虐待防止対策支援事業の実施

障害者虐待に関する届出の受理、障害者及び養護者に対して、相談及び助言、障害者虐待防止及び養護者に対する支援を行うとともに広報啓発活動も行った。

- ・ 相談・通報対応件数（実数）

障害者虐待が疑われる通報	7 件
障害者虐待が疑われない通報	12 件
その他の通報	33 件
合計通報件数	52 件

エ 権利擁護体制の推進と相談体制の整備 【推進目標】

㉞ 障害者虐待防止出張講座の実施（コ中止）

① 障害者虐待防止センター周知啓発の実施

- ・事業説明の実施：2回、延べ約23名
- ・チラシの配布：137箇所

③ 法人後見事業

法人後見事業の実施

・推薦依頼件数

推薦経緯	件数
市高齢者いきがい課	4
市障害者福祉課	0
その他	2
合 計	6

・受任件数

類 型	件数	高齢者（生保）	障害者（生保）
後見類型	14	11(4)	3(2)
保佐類型	5	4(2)	1(1)
保佐監督	1	0(0)	1(0)
合 計	20	15(6)	5(3)

・後見相談受付件数

受付方法	件数
一般相談	145
専門職相談	30
合 計	175

※ 令和3年1月・2月、会場である総合福祉センターが緊急事態宣言を受け休館となったため、専門職相談を一時中止した。

④ 福祉サービス利用援助事業（あんしんサポートねっと）

ア 福祉サービス利用援助事業の推進

県社協から福祉サービス利用援助事業の委託を受け、高齢者、知的障害者、精神障害者等で判断能力が十分でない方へ、福祉サービス利用の手続きや日常生活に必要な金銭管理等の支援を行った。

・問合せ、相談 (単位:件)

対象区分	高齢者	知的障害者	精神障害者	不明その他	合 計
問合せ	21	3	10	4	38
相談	21	3	9	0	33
合 計	42	6	19	4	71

・延べ契約者数、契約廃止者数、年度末契約者数 (単位: 件)

対 象 者	前年度 (継続)	新規	解約	年度末契約数
高 齢 者 等	13	6	7	12
知的障害者	17	0	3	14
精神障害者	15	9	1	23
そ の 他	6	0	3	3
合 計	51	15	14	52

イ 研修の実施

専門員、生活支援員の資質の向上を図るため、研修を実施した。

・市社協主催支援員研修会

開催日	場所	内容
3月26日	総合福祉センター	障害者へのかかわり方と支援方法の確認及び情報交換

・県社協主催生活支援員研修会 (コ中止)

・県社協地域権利擁護推進会議 (第3ブロック) 研修会 (コ中止)

⑤ 生活支援関係事業 (生活福祉資金、福祉資金、安定資金等) 各種資金の貸付事業 (生活福祉資金、小口資金) の適正な実施

㊦ 生活福祉資金等の貸付【県社協受託事業】

低所得世帯に対する貸付制度の申請等の事務を行った。

資金種別	決定件数	金額 (円)
生活福祉資金 (特例貸付除く)	6	18,950,000

㊧ 特例貸付【県社協受託事業】

新型コロナウイルス感染症の影響による休業や失業で、生活資金に困窮する世帯に対する特例貸付制度の申請等の事務を行った。

資金種別	決定件数	金額 (円)
緊急小口資金	2,470	476,300,000
総合支援資金	1,592	1,269,720,000
合 計	4,062	1,746,020,000

※総合支援資金は、延長及び再貸付の決定数を含む。

㊨ 小口資金の貸付

低所得世帯等の生活の安定を図るため、次の貸付を行った。

資金種別	件数	金額 (円)
福祉資金	0	0
安定資金	375	8,727,000
合 計	375	8,727,000

㊦ 滞納者に対する督促状発送

資金種別	10月発送(件)	住所調査(件)
福祉資金	28	6
安定資金	147	15
合計	175	21

㊧ 欠損処分の実施

資金種別	件数	金額(円)
福祉資金	2	83,000
安定資金	8	208,000
合計	10	291,000

⑥ 生活支援体制整備推進事業の実施

ア 生活支援コーディネーター(地域支え合い推進員)の配置

川越市から委託を受け、第1層(川越市全体)を対象として、地域における支え合いの体制づくりを推進することを目的に活動する生活支援コーディネーターを配置した。また、自治会連合会支会単位に第2層生活支援コーディネーターを配置し、生活支援や介護予防の取り組みなど、住民主体の支え合い・助け合い活動の充実を図るための話し合いの場(協議体)の設置に向けた支援に努めた。

イ 地域資源の把握と課題の抽出

第2層生活支援コーディネーターがいきいきサロンやサークル活動、介護予防体操等を実施している場所へ出向き、活動状況について調査を行った。

ウ 地域における支え合いの体制づくりの推進に向けた協議体の設置

市担当課、地域包括支援センターと第1層協議体「地域支え合い会議・川越」の運営や生活支援体制整備推進事業の今後の展開及び進捗状況の確認等、協議の場を設けた。

また、第2層圏域においては、第2層生活支援コーディネーターが担当圏域へ出向き、住民主体の支え合い、助け合い活動の体制づくりを進めるための話し合いの場へ参加するなど、地域活動を支援した。

内 容	件数
第1層協議体「地域支え合い会議・川越」の開催協力	(コ中止)
第2層における生活支援等に係る話し合いの場の運営支援	22地区

エ 第2層(自治会連合会支会単位)における、住民主体の活動への支援

地区社会福祉協議会や地区民生委員児童委員協議会、地域包括支援センター等の会議へ出向き、生活支援サービスや居場所づくり、担い手育成等の取り組み実施に向けた相談や情報提供、検討会、研修の実施等を支援した。

内 容	件数
地区社会福祉協議会会議及び事業等への参加	79回
各地区民生委員・児童委員協議会定例会等への参加	207回
地域包括支援センター関係の会議等への参加	34回
その他打ち合わせ等	142回

オ 市民に対する周知啓発活動の実施

地域住民や介護保険関係事業所等関係機関向けに上記の話し合いの場等へ出向いた際に制度や事業内容等の周知を行った。

カ 研修への参加

国、埼玉県等が開催する生活支援体制整備及び生活支援コーディネーターに係る研修会に参加し、本事業実施のための資質の向上に努めるとともに、他自治体等の活動状況等、本市の事業推進に参考となる情報等の把握に努めた。

また、埼玉県が実施(県社協委託)する生活支援コーディネーター研修指導者として研修会の運営を支援した。

⑦ その他安心生活を支えるサービス

ア 法外援護旅費の補助

内 容	件 数	金額 (円)
補 助	5	2,500

イ 見舞い激励事業の実施

㊦ 火災等による被災世帯への見舞い事業の実施

種 別	件 数	金額 (円)	種 別	件 数	金額 (円)
全 焼	10	200,000	水 損	0	0
半 焼	2	20,000	死 亡	3	60,000
半 壊	0	0	合 計	15	280,000

㊧ 歳末たすけあい援護事業の実施

- ・歳末たすけあい援護金配分委員会の開催
- ・要援護世帯等への慰問事業の実施

在宅の要援護世帯、市内民間福祉施設へ援護金を贈り激励した。

種 別		基準額（円）	対象者数（人）	配分額（円）
要援護 世帯	低所得世帯	10,000 +世帯人数 加算 +証明書類 手数料	67	753,300
	重度要介護高齢者	2,000	98	196,000
	重度障害児者	2,000	2,670	5,340,000
市内民間福祉施設		20,000	39 施設	780,000
合 計			2,874	7,069,300

ウ 在宅障害児招待事業の実施（コ中止）

在宅障害児の世帯を対象に、家族間の交流を深めていただくため芋ほり事業を予定していたが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止とした。

エ 在宅介護者リフレッシュ事業等福祉事業の実施

在宅介護者つどい事業の実施

在宅介護者の福祉向上とリフレッシュ及び介護者間の交流、親睦を目的として季節のおたより送付や介護に関する情報の提供などを通じ、つながりを意識したリフレッシュ事業に取り組んだ。

オ 授産品引換券事業「地域まる Goto ふれあいキャンペーン！」の実施

新型コロナウイルス感染拡大の影響で中止となった共同募金の配分金事業の予算を活用し、市民の障害者施設の取組みに対する理解を深め、障害のある方の制作意欲と生きがいを高めるため、市内障害者施設で販売されている授産品を購入できる引換券を発行し、社協だよりやオアシスチャンネルのプレゼントクイズの応募者及び令和元年度在宅障害児招待事業の参加申込者に配布した。

- ・実施期間 令和2年12月1日から令和3年3月15日まで
- ・発行枚数 600枚（1枚500円分）
- ・配布対象者 298名
 - 内訳 プレゼントクイズ応募者 166名
 - 在宅障害児招待事業の参加者 132名
- ・配布枚数 596枚（1人につき2枚配布）
- ・使用枚数 322枚
- ・使用率 54%

6 地域福祉を推進するための社協基盤の強化

～第四次地域福祉活動計画を着実に推進するために

第四次地域福祉活動計画に掲げる事業を着実に推進するため、事務局組織体制の強化や効率的な財政運営等を行います。

また、市民の皆様からご協力いただいた、社協会費、寄付金、共同募金配分金等の貴重な財源の効果的な活用に努めます。

(1) 人事・労務体制の整備

(総務課、生活支援課)

人事管理制度の充実

ア 総合的な研修体系の検討

県社協等が開催する研修について、受講の必要性を検討し、職員に階層別研修や専門的研修を受講させ、職員の資質向上に努めた。

⑦ 外部研修等

・ 県外研修

名称	参加者
第1回 障害者施設職員研修	1

・ 県内研修

名 称	参加者
令和2年度 市町村社協 会計研修	1
埼玉県生活支援コーディネーター指導者会議	1
社会福祉士 実習指導者講習会	2
支会長及び事務局長合同会議	2
管理者キャリアパス研修	1
法人後見実施社協等連絡会議	1
チームリーダーキャリアパス研修	2
中堅職員キャリアパス研修	1
初任者キャリアパス研修	14
高齢者の消費被害防止フォーラム	1
埼玉県市町村社協連絡会 入間第3ブロック連絡会 研修会	2
埼玉県生活支援コーディネーター協議体	1
福祉教育推進研修	1
福祉教育セミナー	1
災害時におけるマニュアル策定の手引きセミナー	1
ボランティアコーディネーター現任研修	1
甲種防火管理新規講習	2

⑧ オンライン研修

名	称
介護の日記念研修	
接遇研修	
財務管理担当者	
人事管理者研修	
職場研修担当者のための研修	
自閉症カンファレンス NIPPON2020	
ボランティアコーディネーター現任研修	
スーパービジョン研修	
感染予防講習会	
話し方・折衝・交渉力向上研修	
福祉用具研修会	
研究集会	

(※他事業の研修会と一部再掲あり)

イ 情報の共有化

- ㊦ 埼玉縣市町村社協連絡会入間第3ブロック連絡会
 - ・開催日：令和2年11月16日
 - ・会場：入間市市民活動支援センター
 - ・内容：児童虐待防止研修会 参加者：2名
- ㊧ 第56回関東ブロック郡市区町村社協職員合同研究協議会
 - ・新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、令和3年度に持ち越し
- ㊨ 労務管理機能(衛生委員会の開催、産業医の巡視及び健康相談)の強化
 - ・衛生委員会の開催
 - ・産業医の巡視(月1回)及び健康相談の実施
- ㊩ 入間ブロック内社協災害ボランティアセンター担当者情報交換会の開催

近隣市町村社協で災害発生時における、災害ボランティアセンターの運営や復興に向けた生活支援等での広域連携を図るため、情報交換を行った。

 - ・開催日：令和2年11月19日
 - ・参加社協：12市町社協/18市町社協

(2) 法人運営及び組織管理体制の確立

役員会等の充実

ア トップセミナー等の研修会の実施(コ中止)

理事・監事・評議員を対象に研修会を行っているが、新型コロナウイルス

ルス感染症拡大防止のため中止とした。

イ 役員会等の充実

理事会、評議員会等の開催

・理事会

(開催回数 5 回)

開催日	出席者数	議 題 等
6 月 9 日	理事 11 監事 2	<p>【議案】</p> <p>議案第 1 号 令和元年度計算書類等について</p> <p>議案第 2 号 令和元年度事業報告について</p> <p>議案第 3 号 令和 2 年度資金収支補正について</p> <p>議案第 4 号 令和 2 年度第 1 回社会福祉法人川越市社会福祉協議会評議員会の招集について</p> <p>議案第 5 号 社会福祉法人川越市社会福祉協議会評議員選任・解任委員会委員の選任について</p> <p>議案第 6 号 社会福祉法人川越市社会福祉協議会評議員選任・解任委員会の招集及び評議員候補者の提案について</p> <p>議案第 7 号 令和 2 年度川越市社会福祉大会運営委員会委員の選任について</p> <p>議案第 8 号 在宅福祉サービスセンター運営委員会委員の選任について</p>
9 月 23 日 (決議日)	理事 15 監事 2	<p>【議案】</p> <p>議案第 9 号 令和 2 年度資金収支補正について</p> <p>議案第 10 号 令和 2 年度第 2 回社会福祉法人川越市社会福祉協議会評議員会の決議の省略について</p>
12 月 21 日	理事 12 監事 2	<p>【議案】</p> <p>議案第 11 号 令和 2 年度資金収支補正予算について</p> <p>議案第 12 号 社会福祉法人川越市社会福祉協議会資金運用規程の一</p>

		<p>部を改正する規程を定めることについて</p> <p>議案第 13 号 社会福祉法人川越市社会福祉協議会資金運用方針の一部を改正する方針を定めることについて</p> <p>議案第 14 号 令和 2 年度第 3 回社会福祉法人川越市社会福祉協議会評議員会の招集について</p> <p>議案第 15 号 社会福祉法人川越市社会福祉協議会評議員選任・解任委員会委員の選任について</p>
1 月 18 日 (決議日)	同意数 理事 15 監事 2	<p>【議案】</p> <p>議案第 16 号 令和 2 年度第 3 回社会福祉法人川越市社会福祉協議会評議員会の決議の省略について</p>
3 月 16 日	理事 11 監事 2	<p>【議案】</p> <p>議案第 17 号 令和 2 年度資金収支補正予算について</p> <p>議案第 18 号 社会福祉法人川越市社会福祉協議会定款の一部を改正する定款を定めることについて</p> <p>議案第 19 号 社会福祉法人川越市社会福祉協議会経理規程の一部を改正する規程を定めることについて</p> <p>議案第 20 号 令和 3 年度事業計画について</p> <p>議案第 21 号 令和 3 年度資金収支予算について</p> <p>議案第 22 号 令和 2 年度第 4 回社会福祉法人川越市社会福祉協議会評議員会の決議の省略について</p> <p>議案第 23 号 川越市社会福祉協議会福祉基金運営委員会委員の選任について</p> <p>議案第 24 号 社会福祉法人川越市社会福祉協議会小口資金貸付事業</p>

		運営委員会委員の選任について
--	--	----------------

・評議員会

(開催回数 4 回)

開催日	出席者数	議 題 等
6 月 26 日	評議員 32	【議案】 議案第 1 号 令和元年度計算書類等について 議案第 2 号 令和元年度事業報告について 議案第 3 号 令和 2 年度資金収支補正予算について 議案第 4 号 令和 2 年度川越市社会福祉大会運営委員会委員の選任について 議案第 5 号 社会福祉法人川越市社会福祉協議会役員を選任について
10 月 9 日 (決議日)	同意数 評議員 40	【議案】 議案第 6 号 令和 2 年度資金収支補正予算について
2 月 1 日 (決議日)	同意数 評議員 40	【議案】 議案第 7 号 令和 2 年度資金収支補正予算について
3 月 26 日 (決議日)	同意数 評議員 40	【議案】 議案第 8 号 令和 2 年度資金収支補正予算について 議案第 9 号 社会福祉法人川越市社会福祉協議会定款の一部を改正する定款を定めることについて 議案第 10 号 令和 3 年度事業計画について 議案第 11 号 令和 3 年度資金収支予算について

・評議員選任・解任委員会

開催日	出席者数	議 題 等
6 月 18 日	委員 3	【議案】 議案第 1 号 社会福祉法人川越市社会福祉協議会評議員の選任について

・監事による監査

開催日	出席者数	監査事項
5月27日	監事 2	令和元年度事業報告及び会計監査

・企画財政部会 (開催回数 1回)

開催日	出席者数	議題等
12月14日	委員 6	福祉基金の運用について

② 広報活動の強化

各課から編集委員を選定し、社協だより、ホームページ、SNSを活用し、各事業に関する情報を企画、編集し、発信した。

③ 危機管理体制の整備

ア 事業継続計画（BCP）の検討

イ 諸規程等の整備

- ㊦ 制定 2件
- ㊧ 一部改正 21件

(3) 財政基盤の強化と事業推進体制の整備

(総務課、地域福祉課)

① 財源確保及び事業運営の強化

ア 社協会員加入の促進

社協会員募集については、普通会员1口300円、特別会員1口1,000円、賛助会員1口5,000円以上でお願いし、加入促進に努めた。

区分	令和2年度		参考（令和元年度）	
	加入世帯数等	会費収入(円)	加入世帯数等	会費収入(円)
普通会员	47,248世帯	15,822,824	55,906世帯	16,094,532
特別会員	1,850人	2,020,600	1,707人	1,781,000
賛助会員	258件	1,438,000	468件	2,463,400
合計		19,281,424		20,338,932

イ 自主財源確保に向けた調査研究

㊦ 共同募金の促進

埼玉県共同募金会から令和2年度配分金として26,502,000円（一般募金配分金10,308,000円、歳末募金配分金16,194,000円）の配分を受けた。

㊧ 一般寄付金の受入れ

61件 18,596,677円

ウ 基金等効率的な資産の運用

基金積立総額： 255,705,349 円

㊦ 資金運用

理事会で資金運用規程、資金運用方針を定め、国債等を運用

- ・ 利付国債第 333 回（10 年）40,000,000 円＜H26.3 購入＞継続中
- ・ 共同発行市場公募地方債189 回（10 年）40,000,000 円＜H30.12 購入＞継続中
- ・ 利付国債第 174 回（20 年）98,567,000 円＜R3.2 購入＞継続中

㊧ 活用できる運用益

令和元年度末運用益合計額	令和 2 年度執行額	繰越額
7,619,107 円	0 円	9,056,532 円

※参考：令和 2 年度運用益 1,437,425 円

② 地域福祉活動計画及び発展強化計画の推進

ア 川越市地域福祉活動計画との連携

第五次川越市地域福祉活動計画と第四次川越市地域福祉計画を一体化し、計画名称「みんなでつくる福祉のまち川越プラン」として策定

イ 川越市社会福祉協議会地域福祉活動推進委員会の開催

開催日	出席者	内 容
第 1 回（5 月 26 日） 書面会議	15 人	・ 「みんなで作る福祉のまち川越プラン」の進行管理について ・ 次期計画骨子案について
第 2 回（7 月 13 日） 書面会議	16 人	・ 「みんなで作る福祉のまち川越プラン」の進行管理について ・ 次期計画素案について
第 3 回（8 月 19 日）	14 人	・ 次期地域福祉計画・地域福祉活動計画の策定について
第 4 回（10 月 13 日）	15 人	・ 次期地域福祉計画・地域福祉活動計画の策定について
第 5 回（1 月 25 日） 書面会議	15 人	・ 意見公募の結果について ・ 次期地域福祉計画・時期地域福祉活動計画について ・ 答申について

ウ 発展強化計画の年次評価と進行管理の実施

各重点項目を推進し、年次評価を行った。また、「第 3 次川越市社会福祉協議会 発展・強化計画」（計画期間：令和 3 年度～令和 8 年度）を策定した。

7 その他

(1) 実施事業

(地域福祉課)

戦没者追悼事業の実施

ア 春季戦没者追悼式（コ中止）

令和2年4月11日に予定していた春季戦没者追悼式は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止とした。

イ 秋季戦没者追悼式

㊦ 本庁管内地区戦没者追悼式

- ・開催日：令和2年11月19日
- ・会場：ウェスタ川越多目的ホール
- ・参加者数：54人

㊧ 出張所管内地区戦没者追悼式

- ・開催日：令和2年9月～11月の間
- ・会場：地区毎に規模の縮小等をして実施

(2) その他の事業（総務課、地域福祉課、生活支援課、総合福祉センター）

① 埼玉県共同募金会川越市支会の運営

埼玉県共同募金会川越市支会事務局業務の実施

② 社会を明るくする運動への協力

社会を明るくする運動キャンペーンに協力し、青少年の健全育成を推進した。

③ 実習生の受入れ

社会福祉士養成 相談援助実習

- ・上智大学 1名
- ・日本社会事業大学 1名
- ・西武文理大学 1名
- ・立正大学 1名

(3) 福祉団体事務局

(地域福祉課)

各団体の事務局運営 ≪再掲 P22-③-ア参照≫

- ・川越市民生委員児童委員協議会連合会
- ・川越市障害者団体連絡協議会
- ・川越市身体障害者福祉会連合会
- ・川越市老人クラブ連合会

- ・川越市遺族会
- ・川越市在宅介護者友の会
- ・川越市ボランティア連絡会

(4) 令和元年10月台風19号被害に対する支援 **(生活支援課)**

台風19号による水害を被った社会福祉施設の水没した書類の洗浄作業を、災害ボランティア団体と登録個人ボランティアと協力し支援した。

- ・活動期間：令和2年6月18日～11月27日
- ・活動場所：市内社会福祉施設
- ・活動人数：延べ281人（災害ボランティア団体、個人）